

京都スタジアム（仮称）検討特別委員会（協議会）

日 時 平成 2 9 年 8 月 8 日（火）午後 1 時 3 0 分～
場 所 全員協議会室

1 開議

2 案件

（1）京都スタジアム（仮称）の設計概要について

3 その他

京都スタジアム（仮称）検討特別委員会

京都スタジアム（仮称）の
施設整備の概要について

平成29年8月8日（火）

京都スタジアム（仮称）の施設整備の概要について

平成 29 年 8 月

京都府文化スポーツ部

京都スタジアム（仮称）の主な施設概要について

サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等の専用球技場として、各競技の国際試合、Jリーグ・トップリーグ・Xリーグなどの試合や全国大会が開催できるように、「スタジアム標準（日本サッカー協会）」や「スタジアム検査要項（Jリーグ）」などの施設基準を満たす規模や機能等を整備する。

○ 建物の規模・構造

建築面積	約 15,500㎡
延床面積	約 33,000㎡
階数	地上4階
高さ	約 28m
構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造

○ 座席数

全体	約 21,610席	
内訳	一般席	約 20,880
	VIPシート	約 180
	ビジネスシート	約 310
	スカイシート	約 180
	車いす席	約 60

○ 観客席

座席間隔	一般席 47cm、VIP席 55cm、 ビジネスシート等 50～55cm
------	---

○ 屋根

観客席最前列より張り出した屋根で全席を覆う [全国初]
(※ 南面屋根：芝への日照を確保するため太陽光透過屋根材を設置)

○ フィールド寸法及び観戦環境

フィールド寸法	126m (南北) × 84m (東西)
天然芝ピッチ	120m // × 77m //

観戦環境	スタンド最前列からの距離 (サッカー競技の場合)	
	メインスタンド	8.5m
	バックスタンド	7.5m
	サイドスタンド	10.5m
	スタンド最前列床面とフィールド面との高低差	1.2m

○ 天然芝の養生管理

- ・ 通風 (南北スタンド下部に通風口設置)
- ・ 日照 (冬至でもピッチ全面で4時間以上日照を確保)
- ・ 散水 (自動散水システムの導入)

○ 照明 (LED)

フィールドの照度	1,500ルクス以上
----------	------------

○ 大型映像装置

2基

○ 太陽光発電

南サイドスタンドの屋根以外で設置を予定

○ 駐車場

乗用車及び大型バス 約100台程度
(※選手、試合・運営、報道、障害者車両用)

○ その他の施設

商業ゾーン：商業エリア及びクライミングウォール
防災備蓄倉庫

スタジアムの鳥瞰



嵯峨野線車窓からのスタジアム



バックスタンド下のクライミングウォールと商業ゾーン



スタジアムの近景 (北側広場から望む)



スタジアムの近景 (南側公園から望む)



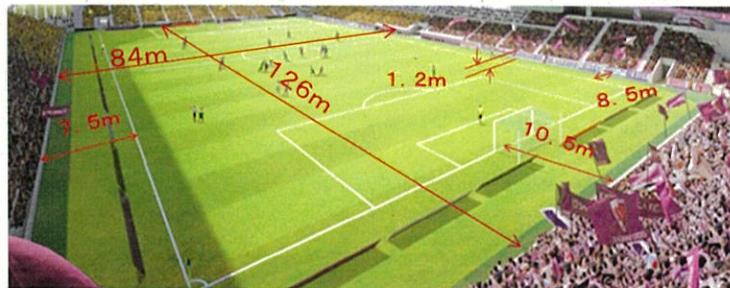
スタジアムの近景 (北西ゲート前外部デッキ)



スタジアム内の施設配置



観客席とフィールドの距離(観戦環境)



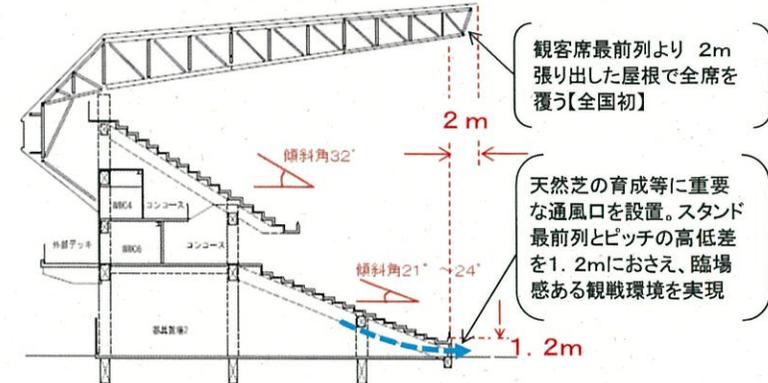
スタジアム内の主な施設概要

主な施設	
屋根	観客席最前列より2m張り出した屋根で全席を覆う【全国初】
観戦環境	スタンド最前列からピッチまでの距離
	・メインスタンド 8.5m
	・バックスタンド 7.5m
	・南北サイドスタンド 10.5m
	・スタンド最前列とピッチの高低差 1.2m
フィールド	126m(南北)×84m(東西)(サッカー・ラグビー国際試合開催可)
大型映像装置	2基
照明(LED)	フィールドの照度 1,500ルクス以上
天然芝	通風・日照・散水機能の充実、耐陰・耐寒性に優れた品種採用

バックスタンド側上層スタンドの観客席



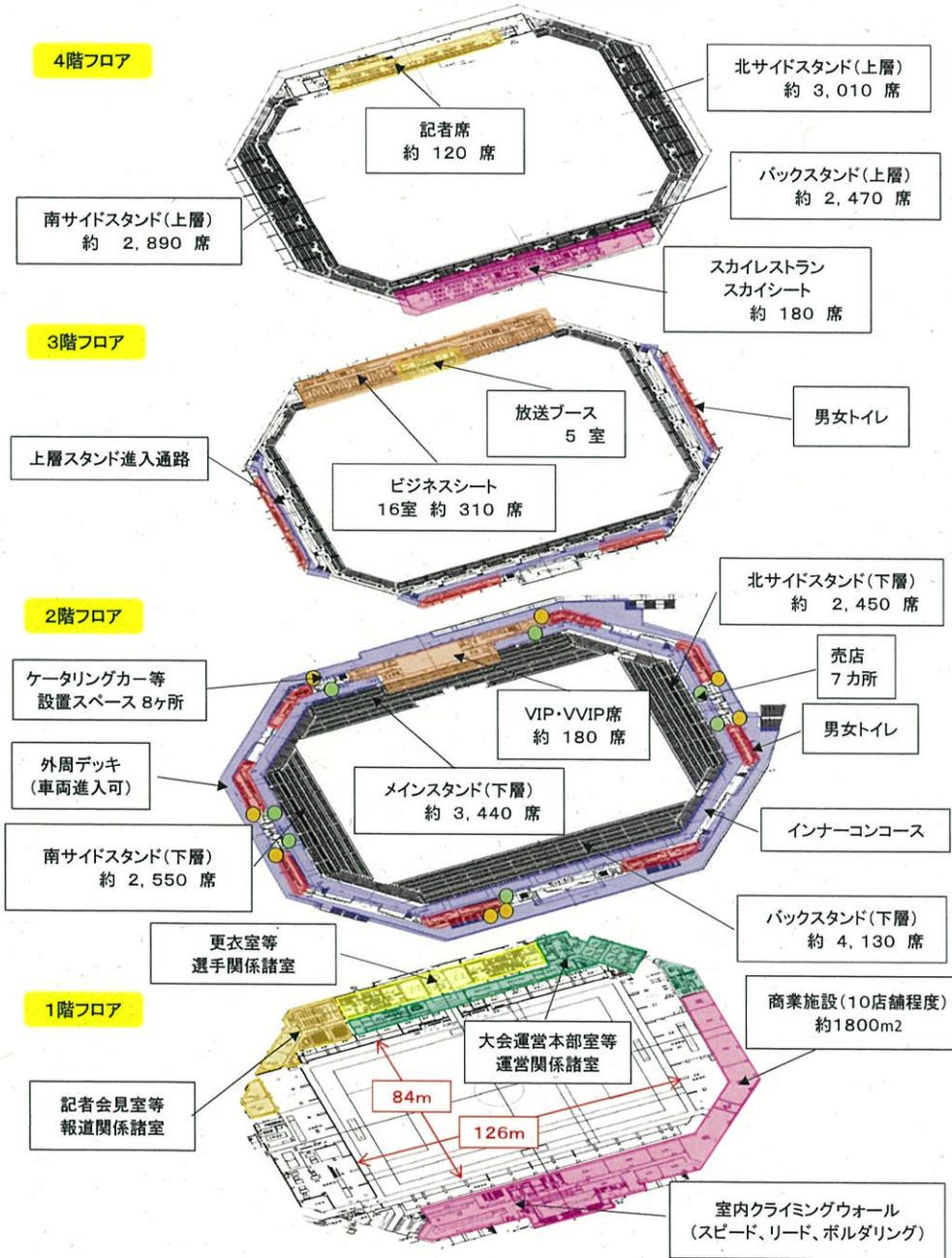
スタンドの傾斜角



インナーコンコース



各フロアの主な施設配置



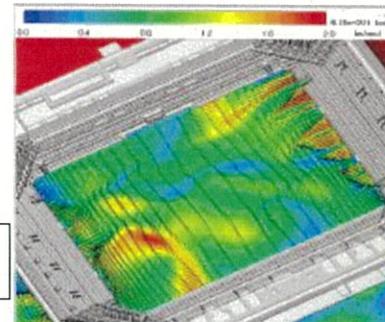
観客席の数、座席間隔

	席数	備考
メインスタンド	3,930	一般席、VIP、ビジネスシート、車椅子席
バックスタンド	6,780	一般席、車椅子席、スカイシート
北サイドスタンド	5,460	一般席
南サイドスタンド	5,440	〃
計	21,610	

一般席 47cm、VIP席 55cm、ビジネスシート・スカイシート 50~55cm



良好な天然芝を実現する「光・風・水」の工夫(芝の長寿命化)



ピッチ気流解析で通風状態をチェック
(※水色部は風量が弱い箇所)



ハーフタイム中にも散水ができ、夏場に涼感をもたらす一斉自動散水システム